



2021年3月期 第3四半期決算説明

2021年2月9日

 **ダイダン**株式会社



2021年3月期 第3四半期決算 連結業績サマリー

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
受注工事高	135,944	122,561	▲13,383	▲9.8%	前期大型工事の反動減、新型コロナウイルス感染症の影響により、中型・小型案件が減少
完成工事高	122,050	111,099	▲10,951	▲9.0%	第1四半期の受注の落ち込み、特にリニューアル工事の減少
完成工事総利益	15,721	16,401	679	4.3%	手持ち工事の利益改善による完成工事総利益率の上昇
完成工事総利益率(%)	12.9%	14.8%	1.9p		
営業利益	7,066	7,205	138	2.0%	販売費及び一般管理費が増加となるも、完成工事総利益の増加で吸収し、増益
営業利益率(%)	5.8%	6.5%	0.7p		
経常利益	7,331	7,593	261	3.6%	前期の為替差損が、当期は為替差益に転じる
経常利益率(%)	6.0%	6.8%	0.8p		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,968	5,190	222	4.5%	多額の特別損益の発生はなし
四半期純利益率(%)	4.1%	4.7%	0.6p		

事業環境

- 前期大型工事の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、店舗や工場等の中型・小型案件が減少し、受注工事高は前期比で減少となりました。
- 第1四半期の受注工事高の落ち込み、とりわけ短工期のリニューアル工事の減少により、完成工事高も前期比で減少となりました。
- 手持ち工事の進捗に伴う利益改善等により完成工事総利益は、前期比で増加となりました。
- 完成工事総利益の増加を受け、各段階利益も前期比で増加となりました。
- 結果、第3四半期の経営成績は前期比、減収増益となりました。

連結業績サマリー

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因等・特記事項
受注 工事高	電気工事	22,371	20,165	▲2,206	▲9.9%	海外における前期大型工事の反動減
	空調工事	83,984	71,661	▲12,323	▲14.7%	店舗、工場のリニューアル工事の中止または延期
	水道衛生工事	29,588	30,735	1,146	3.9%	病院案件の受注により増加
	合計	135,944	122,561	▲13,383	▲9.8%	減少要因は前ページのとおり
完成 工事高	電気工事	18,457	16,646	▲1,811	▲9.8%	
	空調工事	74,560	67,782	▲6,778	▲9.1%	
	水道衛生工事	29,031	26,670	▲2,361	▲8.1%	
	合計	122,050	111,099	▲10,951	▲9.0%	減少要因は前ページのとおり
繰越 工事高	電気工事	19,382	23,032	3,650	18.8%	
	空調工事	86,925	81,464	▲5,461	▲6.3%	
	水道衛生工事	30,922	31,194	272	0.9%	
	合計	137,230	135,691	▲1,539	▲1.1%	受注工事高の減少による

- ・ 前頁に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により、受注工事高及び完成工事高は減少しました。
- ・ 電気工事の減少は、前期に海外で大型案件を受注した反動減によるものです。
- ・ 空調工事の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、店舗、工場等のリニューアル工事が、中止もしくは延期されたことによるものです。
- ・ 水道衛生工事の増加は、主に病院案件の受注によるものです。
- ・ 繰越工事高（手持ち工事）は、完成工事高が減少となったものの受注工事高の減少が上回り、減少となりました。

連結業績サマリー

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2020年3月期	2021年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	67,409	72,128	4,718	7.0%	四半期純利益5,190百万円が配当額2,072百万円を上回り、利益剰余金が3,117百万円増加
総資産	123,049	121,280	▲1,769	▲1.4%	前期末にかけて大型工事が進捗し、その債務の支払いを当期に行ったことにより減少
1株当たり純資産 (BPS)	3,101.72円	3,316.70円	214.99円	6.9%	上記、「純資産」の増加のとおり
株価純資産倍率 (PBR)	0.94倍	0.90倍	－	－	(参考) 2020年3月 株価終値：2,906円 2020年12月 株価終値：2,976円
自己資本比率	54.6%	59.3%	4.7p	－	債務の減少及び純資産の増加による

連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

〔ご参考：決算短信では省略しております。〕

（単位：百万円）

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	5,361	9,860	4,499	83.9%	四半期純利益の計上や工事の代金回収による
投資活動によるCF	▲317	▲320	▲3	－	有形固定資産の取得、子会社設立等
財務活動によるCF	▲2,805	▲2,253	552	－	配当金の支払 (前期は自己株式の取得1,078百万円を含む)
現金及び現金同等物の期首残高	12,776	21,616	8,840	69.2%	前期期首は支払サイトの短縮という一過性の要因により減少していたが、当期期首においては正常化したため現金は増加
現金及び現金同等物の増減額	2,235	7,294	5,058	226.3%	
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,011	28,910	13,898	92.6%	



2021年3月期 第3四半期決算ハイライト

受注工事の状況

受注工事の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率	
リニューアル工事	66,674	18,327	85,001	58,179	▲8,494	▲12.7%	新型コロナウイルスの影響による減少
リニューアル比率(%)	49.0%	53.6%	50.0%	47.5%			
大規模・中規模の改修工事	38,548	9,589	48,137	33,868	▲4,679	▲12.1%	
小規模の改修工事	28,126	8,737	36,863	24,310	▲3,815	▲13.6%	
その他	69,270	15,849	85,119	64,381	▲4,888	▲7.1%	工場案件の受注減により減少
受注工事高合計	135,944	34,176	170,121	122,561	▲13,383	▲9.8%	
直接受注	65,456	15,620	81,077	48,209	▲17,246	▲26.3%	上記「リニューアル工事」のとおり
直接比率(%)	48.1%	45.7%	47.7%	39.3%			
官庁工事	21,006	1,630	22,636	19,952	▲1,054	▲5.0%	
官庁比率(%)	15.5%	4.8%	13.3%	16.3%			

- 受注工事高については、前期大型工事の反動減、及び新型コロナウイルスの影響により、店舗や工場等のリニューアル工事を中心に減少となりました。
- 直接受注の比率が高いリニューアル工事の受注減により、直接比率も減少しました。

受注工事の状況

産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
産業施設合計 (受注比率%)	42,552 31.3%	13,142 38.5%	55,694 32.7%	31,277 25.5%	▲11,274	▲26.4%
受注工事高合計	135,944	34,176	170,121	122,561	▲13,383	▲9.8%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分している。

産業施設の第3四半期受注工事高の推移

単位：億円



- データセンター、研究所は前期並みに受注を確保しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により工場の受注が減少し、受注工事高は前期比112億円減の312億円となり、受注比率は25.5%となりました。
- ただし、大型案件の受注予定が第4四半期に集中していることにより、通期では前期比で大きな落ち込みはないものと予想しています。

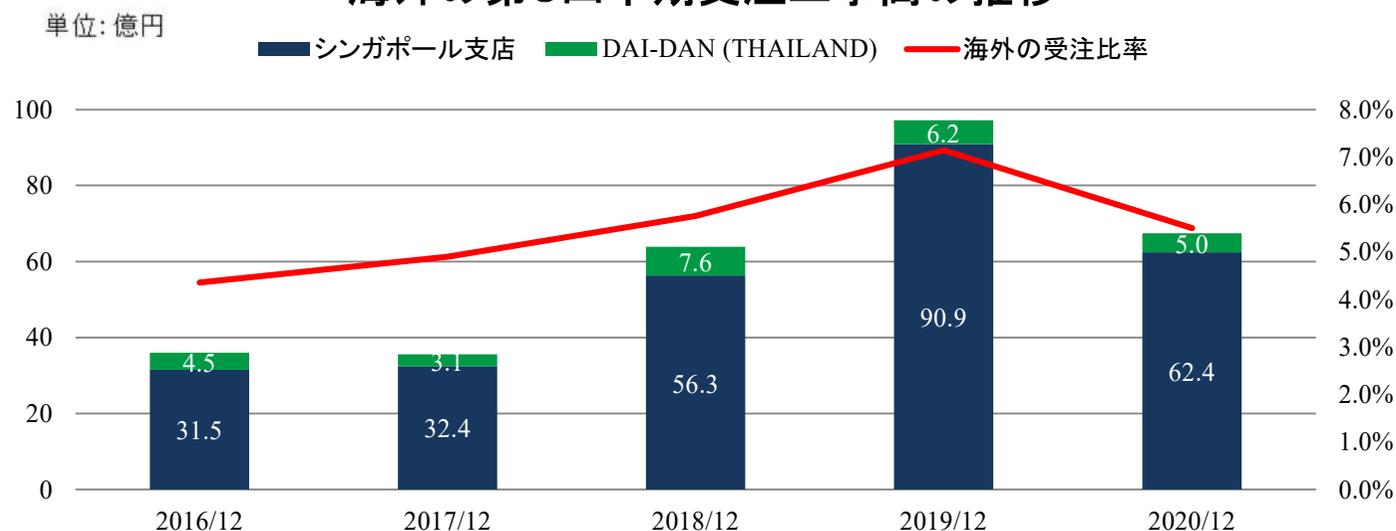
受注工事の状況

海外事業の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期	前年同期比	
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率
海外受注工事合計 (受注比率%)	9,711 7.1%	547 1.6%	10,258 6.0%	6,743 5.5%	▲2,967	▲30.6%
受注工事高合計	135,944	34,176	170,121	122,561	▲13,383	▲9.8%

海外の第3四半期受注工事高の推移



- 海外事業は、シンガポール支店とDAI-DAN(THAILAND)に加え、10月にDAI-DAN(VIETNAM) を設立しました。
- シンガポールにおいては、新型コロナウイルス感染による影響から落ち着きつつありますが、大型公共工事の入札数が大きく減少したこと、また、前期大型工事の反動減により、前期比減となりました。



2021年3月期 通期業績予想

通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前期対比 通期	
	第1～3四半期	通期	第1～3四半期	通期(予想)	増減	増減率
受注工事高	135,944	170,121	122,561	168,000	▲2,121	▲1.2%
完成工事高	122,050	169,229	111,099	156,000	▲13,229	▲7.8%
完成工事総利益	15,721	21,056	16,401	21,400	344	1.6%
完成工事総利益率(%)	12.9%	12.4%	14.8%	13.7%	1.3p	
営業利益	7,066	9,063	7,205	8,500	▲563	▲6.2%
営業利益率(%)	5.8%	5.4%	6.5%	5.4%	0.0p	
経常利益	7,331	9,282	7,593	8,700	▲582	▲6.3%
経常利益率(%)	6.0%	5.5%	6.8%	5.6%	0.1p	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,968	6,399	5,190	6,000	▲399	▲6.2%
当期純利益率(%)	4.1%	3.8%	4.7%	3.8%	▲0.0p	

通期業績予想の前提

足元の受注環境について現時点での入手可能な情報から得られた判断に基づく業績予想を算定しております。

- 受注工事高につきましては、第3四半期で見込んでいた大型案件の受注予定が第4四半期へ延期になったことなどにより、前回公表致しました業績予想の通り推移する見込み
- 完成工事高につきましては、第1四半期の受注工事高の落ち込み、とりわけ短工期のリニューアル工事の減少により、前期比で減少
- 完成工事総利益につきましては、第3四半期までは手持ち工事の利益改善により増加いたしました。第4四半期は第3四半期までの高利益率の維持は見込めないことから前期比で微増
- 営業利益以下の各段階利益は、完成工事高の減少及び一般管理費の増加を受け、前期比でそれぞれ減少

株主還元

株主還元に対する方針

利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めるとともに、「安定的かつ継続的な配当」を基本としております。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産配当率 (連結) %
	第2四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭			
2019年3月期	28.00	48.00	76.00	1,694	31.0%	2.6%
2020年3月期	40.00	50.00	90.00	1,975	30.9%	3.0%
2021年3月期 (予想)	45.00	45.00	90.00		32.5%	

配当予想は2020年5月14日公表値から変更はしておりませんが、適宜検討してまいります。

自己株式取得について

株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

IRに関する問合せ先
経営企画室 広報・IR担当：電話 03-3261-4568
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10